

特別委員会の視察日程

災害対策特別委員会《橋爪》

◎視察内容

- 16日(火) 茨城県常総市
- ・関東・東北豪雨災害について
- 17日(水) 茨城県水戸市
- ・水戸市一斉防災訓練について

移住定住特別委員会《上野》

◎視察内容

- 16日(火) 山梨県甲府市
- ・移住定住の取り組みについて
こうふコンシェルジュや移住
ノートの取り組み
- 17日(水) 長野県伊那市
- ・移住定住促進プログラムによる若者
が集うまちづくりについて

交通対策特別委員会《橋本》

◎視察内容

- 16日(火) 長野県安曇野市
- ・デマンド交通の取り組み
導入の経緯と内容、導入後の運行
状況について
- 17日(水) 長野県伊那市
- ・市街地循環バスの取り組みに
導入の経緯と内容、導入後の運行
状況について

※視察内容については後日報告します！また、視察後全議員が委員長へ報告書を提出することになっています。

日本共産党上越市議員団ニュース

No.608 2018年10月21日

連 橋爪 法一 090-5392-1961 (吉川区代石)
 絡 橋本 正幸 080-1980-9855 (三和区鴨井)
 先 上野 公悦 090-7260-9407 (頸城区中柳町)

10月15日(月)に厚生常任委員会が開かれ地域福祉計画についてその基本的な考え方や策定委員会におけるこれまでの検討状況が報告されました。

まず健康福祉部長から地域福祉計画は「健康増進計画や障害者福祉計画などの市が策定した健康福祉に関連する各種計画を包含し福祉関係施策を総合的に推進するための理念計画である」ことが説明されました。

その上で、「平成19年3月に上

越市地域福祉計画(平成19年度から23年度までが対象期間)を策定したが健康増進計画や障害者福祉計画などの個別計画に事業の推進をゆだねてきたことから、計画の改訂がなされないままに現在にいたっている」として、

策定の必要性 が次の3点から説明されました。

①社会福祉法の改正により、平成30年度から新しい気福祉計画の策定が努力義務化されたこと ②国が地

域共生社会の実現、包括支援体制の構築を提言していることから、地域住民や団体の関わり合い、地域の支え合い体制の強化が求められている③健康福祉分野に対する各種施策を総合的に推進するため、分野横断的に検討する必要があるため。

計画の期間 については健康福祉に係る各種計画の最上位計画に位置していることから、市の総合計画と整合性を図る必要がある。

上越市総合計画の見直しの周期に合わせ、4年(平成31年度～34年度)とすること。

米国の臨界前核実験に抗議文送付

アメリカが「昨年12月13日に28回目の核実験を行った」と報道されたことで、「国連で核兵器禁止条約が採択され国際社会が核兵器のない世界の実現に向けて努力する中・・・国際社会の取り組みに逆行するもの」だとして、上越市長と市議会議長は連名で10月12日、米国大使館に抗議文を送付しました。

地域福祉計画について

上越市議会「市議をめざしやすい検討会」がマニフェスト大賞で優秀賞受賞

『中山間地域振興基本条例』の制定に続き2回目の受賞

地方自治体の議会や地域主権を支える市民などの活動を表彰する「マニフェスト大賞」。上越市議会は、第6回マニフェスト大賞で『議員提案による『中山間地域振興基本条例』の制定に続き2度目の受賞になります。この時は、最優秀成果賞に選ばれています。

今回の受賞は「市議をめざしやすい環境整備検討会」の取り組みが全国的に優れた議会取り組みとして評価され、第13回マニフェスト大賞7部門内の『優秀政策提言賞』優秀賞36件の一つとして選ばれたものです。来月(11月9日)に東京で授賞式が行われることになっており、36件の中から各部門別に最優秀賞の7件とグランプリ1件が発表されることになっています。座長を務めてきた滝沢一成議員が議会代表で授賞式に出席します。

今年の応募は全部で2242件ありましたがその中から優秀賞に選ばれたことは、これまでの議会改革の取り組みが評価されたということで大いに今後励みになるものです。

「市議をめざしやすい検討会」は昨年3月に当時の内山米六議長との諮問組織として設置されたもので、この1年間で20回もの検討会議を行い、市民との意見交換会も2回行ってきました。若い人たちや女性の議員(現在1人)が少ないという状況で、議員になりやすい環境づくりに向けた提言書をまとめたものです。

今年度から新しい議長の下で、議会改革推進会議やその中に結成された『推進チーム』が、提言された項目の内、「早急に取り組むべき改革案」として位置付けて改革の具体的検討を進めています。さらにこれと合わせて武藤正信議長との諮問検討組織として、「議員定数及び報酬に関する検討委員会」精力的な議論が行われています。

なお、日本共産党議員団では、「議会改革推進会議」や「推進

チーム」さらに「議員定数及び報酬に関する検討委員会」に上野議員を配置して、開かれた議会、議会制民主主義の根幹を守るために奮闘しています。



「市議をめざしやすい検討会」市民との意見交換会